

SSKP



# Aikoh

福祉社会への道を照らす 愛の灯台  
～一隅を照らす実践、地域への貢献～ No.71

SSKP通巻第七四〇七号  
一九七七年十一月三日第三種郵便物認可  
二〇二〇年四月十七日発行(毎月十八回、一、二、三、五、六、七の日発行)



**特集**

**がんばれ!**

**さくらあったか食堂ネットワーク**

**CONTENTS**

ほっとでホッとできるところ

ともいきGO

こくご・さんすう・りか・ふくし

広報AIKOHヒストリー

未来の人材育成

～愛光のメンター制度のその後～

and more...

**プレゼント企画!**  
P7の応募券で、  
抽選10名様に  
素敵なプレゼント!

# がんばれ! さくらあったか食堂ネットワーク

あったかいごはんを食べて、元気になってほしい!そんな思いが地域を盛り上げます!

今回の特集は令和元年9月に設立した『あったか食堂ネットワーク』の取り組みを紹介します。

2020年3月現在、佐倉市では8つの団体がそれぞれの地域で、子ども食堂・地域食堂として活動しています。そんな仲間たちが定期的に集い、独自のネットワークを使って情報共有や、食材の共有、勉強会、調理研修などを行っています。それぞれの力だけでは補えないことをフォローしながら、ごはんのあたたかさを通して、心のあたたかさを育てています。

皆さんの想いは一つ!あったかい気持ちになってほしい!地域を支える大切な取り組みです!

そんな活動をしている『さくらあったか食堂ネットワーク』では、新型コロナウイルス感染症の対応で学校等が休校になり、自宅で過ごしている子どもたちやそれを支える方々のために手作りのお弁当を届ける活動を行いました。

↓↓『さくらあったか食堂ネットワーク公式マップ』

**さくらあったか食堂MAP**

「食を通じて、子どもたちが、子どもをよく見てくれる地域の大人たちと出会う場づくり」に共感する。佐倉市内の子ども食堂・地域食堂の仲間たちです。食堂に行きたい人、気軽にいらしてくださいね、お手伝いしたい人、新たに立ち上げたい人は、ご連絡を。ご寄付のお申し出も、大歓迎です。子どもたちの笑顔が、もっともっと増えますように!

【このQRコードからFacebookページにアクセスし、各団体のブログ等へのリンクがご覧いただけます。】

Illustration by: curko Kurada  
Designed by: atelier Tierra Azul

- ① 子ども食堂つき**  
【主に土曜日は、ほっとする】をコンセプトに居場所を提供しています。そのほか毎月1回に子ども食堂を開催しています。家庭的な雰囲気の中で、大きなテーブルを囲んで笑い声が響いています。地域の赤い糸からつながるまでが実現のきっかけです。  
＜住所＞ 佐倉市海神町 1-17-1 2F  
＜電話番号＞ 043-235-8008  
＜開催日時＞ 毎月第1土曜日 17時～20時  
＜参加費＞ 子供100円/大人400円(会員300円)
- ② ねっこ食堂**  
地域の子どもから大人まで、みんなが笑顔で暮らすことを目指す「ねっこ食堂」地域の居場所です。地域ぐるみで子育て支援の輪が広がります。楽しいです。  
＜住所＞ 佐倉市津田 3-4-5 新築の3階3階専用室(無償) 無償室  
＜電話番号＞ 043-486-2954 / 043-3573-4423  
＜開催日時＞ 毎月金曜日(7:19)  
＜参加費＞ 100円
- ③ おみやまカフェ**  
おみやまカフェは志津地区の1号。子どもから高齢者までどなたも利用できます。世代を超えておしゃべりをしながら楽しいひと時をすごしませんか。  
＜住所＞ 佐倉市志津 1669-1 ハチアブワグズ2F(1Fロウソク)  
＜電話番号＞ 043-290-9275 / 043-290-9276  
＜開催日時＞ 月～日 土曜日又は日曜日 11:00～15:00  
＜参加費＞ 小学生未満無料・小学生100円・中学生以上300円
- ④ 夕焼けごはん**  
はるおアシスにて食堂を運営している『おひさま食堂』が月1回開催。おひさまごはんもみんなで食べてみる。にぎやかなひと時です。  
＜住所＞ 佐倉市江原台 228 8  
＜電話番号＞ 043-483-2808 / 080-3150-7504  
＜開催日時＞ 第3土曜日 13:00～17:00  
＜参加費＞ 大人300円 小学生100円  
＜URL＞ <https://oasis.ebaratai.jp/mid/>
- ⑤ キッズハウスせんげ**  
居場所・調理を学ぶ子どもを見つめるために、あなただけで見守り。安心できる居場所があれば、そして、親身には関わってほしい人がいて、一歩を踏み出せば、あなただけのチャンスと希望が見えてくる。温かいごはんが笑顔につながります!  
＜住所＞ 佐倉市小幡町 4-16 コミュニティカフェ せんげホール・ハウス  
＜電話番号＞ 043-484-5807  
＜開催日時＞ 第1、第3土曜日 11:00～15:00 ×10月～オープン  
＜参加費＞ 大人300円・高齢者まで100円
- ⑥ 地域食堂ともいき**  
山王小学校区を中心とした食堂です。子どもから高齢者までみんなで楽しく食事を楽しんでいます。地域の力を一丸にして取り組む食堂です。おひさま食堂と連携して活動しています。  
＜住所＞ 佐倉市山王 1145-1 特別養護老人ホームはるかす野原  
＜電話番号＞ 043-484-6311(夜光亭)  
＜開催日時＞ 毎月第3土曜日  
＜参加費＞ 大人100円・子ども50円  
＜URL＞ <http://www.tco-aikoh.or.jp/>  
＜Instagram＞ [https://twitter.com/aikoh\\_chiba](https://twitter.com/aikoh_chiba)
- ⑦ せんなり村 ふれあい食堂**  
月1回の月曜日は、2日間、夕暮れを思い、村には皆さんの人が集まります。ふれあい食堂は地域の、小さな子どもからおじいちゃん、おばあちゃんまで、温かいご飯をみんなで食べて、おしゃべりしながら過ごします。  
＜住所＞ 佐倉市津田 3-4-3 (千鳥幼稚園内)  
＜電話番号＞ 043-485-3755(千鳥幼稚園)  
＜開催日時＞ 月1回、土曜日  
＜参加費＞ 大人300円(賛助会員200円) 子ども100円
- ⑧ 子ども食堂 芽吹き**  
2019年9月よりニューカークが丘・志津地区でオープンしました。さくら建設さんの賛助がきっかけでお借りして開催します。どなたでもどなたでも。  
＜住所＞ 佐倉市志津 1790-1 SAKULOUNGE レンガスペース  
＜電話番号＞ 043-489-0341(伝呼)  
＜開催日時＞ 11:22開店、12時以降はプロダクトを販売。17時～19時  
＜参加費＞ 大人500円・子ども300円  
＜URL＞ <https://ameblo.jp/mehibiki-sakurashi/>

## 『さくらあったか食堂ネットワーク』設立記念講演会 令和元年9月30日の記念写真

佐倉市志津コミュニティーセンターで開催された記念講演では、西田三十五佐倉市長をはじめ、120名を超える参加者が集まりました。基調講演では、千葉県子ども食堂連絡会の高橋亮代表が「子ども食堂」の成り立ちについて講演してくださいました。



『長い春休みを過ごすことになった子どもたち。子どもを守らなきゃならない大人たち。みんなみんな大変ですね…。地域食堂としてなにかできないかな…ということで「100円弁当!」栄養バランスを考えた体にやさしいお弁当です。』

普段、佐倉市江原台でオアシスというカフェで、月1回「夕焼けごはん」を実施しているMさんが、上記の内容でチラシを作り、地域に配りました。

3月13日・16日・23日の3日間でのべ200個以上の手作り弁当を販売しました。

実はこの活動、多くの方の善意で実現できたのです。まず、資金の寄付をしてくれた方。次に食材の寄付をしてくれた方。さらに、当日一緒にお弁当を作ったり、販売してくれたネットワークの仲間など。地域の子供達に想いが届くようにという思いで一生懸命作りました。

お弁当を買いに来る子どもたちは1つ買うのではなく、家で待つ兄弟の分も買って帰ります。お弁当食べて仲良く過ごしてねとの願いをこめて見送ります。



栄養満点のお弁当。初日はピビンバ弁当。2回目はコロケ弁当。3回目は鮭フライ・シューマイ弁当でした。



今、「子ども食堂」や「地域食堂」等、活動はさまざまですが、全国各地で広がっており、子どもも大人も一緒に温かいごはんが食べられるだけでなく、安心していられる居場所であり、学習が出来たり、年齢の違う人と遊ぶ場所になったりと、地域の中で大切な場所になっています。このネットワークを立ち上げたおかげで、団体同士が緩やかにつながり、新しく始める人への支援、寄付の窓口、積極的な広報活動を通して地域の輪が広がってきています。



今回の臨時休校に対しても、厚意で寄せられた食材や寄付金を何とか、家庭に届けて笑顔になって欲しいとの思いを共有し、あったかいお弁当を届けることが出来ました。また、嬉しいことに、新たな食堂「寺崎食堂準備会」が立ち上げに向けて奮闘中です。これからも、市内にたくさんの「あったか食堂」が増えていくことを願っています。皆さんも、是非、マップを見て足を運んでみてくださいね。皆で待っていますよ!

さくらあったか食堂ネットワーク 小林真智子 代表



根郷学童保育所では、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、3月に予定をしていた草笛の丘へのバス遠足が中止になってしまい、「遠足だー!」と、楽しみにしていた子どもたちは、中止の知らせに皆、がっかりしていました。

臨時休校や、人の集まる場所への外出を控えるなど、日ごろから我慢をしている子どもたちと何かできないかと考え、「遠足ごっこ」を計画しました。楽しみにしていたミニSLの乗車はジャンケン列車ゲームへ、陶芸は紙粘土工作、芝生でのランチは校庭の芝生でのランチへと、学童バージョンに変更してみんなで楽しみました。食後、シートに寝転がりながら空を見上げていた男子児童から、「遠足より最高じゃん!」と、最高の一言をもらうことができました。



このような時だからこそ、「今はできない」ではなく、「今できることはなにか?」を話し合い、実行していくことの大切さを子どもたちの笑顔から学ぶことができました。



### 知っていますか?福祉に関するシンボルマーク

ふくしの時間です~みんなにやさしいユニバーサルデザイン。今回は、障害のある人もない人も便利に使えるユニバーサルデザインを紹介します。



シャンプーの容器にはギザギザのきざみがついています。触っただけでシャンプーとリンスの区別が出来るようにつけられたものです。目の不自由な方だけでなく、目をつぶって髪を洗う時に誰でも区別がつかます。



ポディソープの容器にはライン状の印がついています。全てのメーカーではありませんが、2015年から順次導入されています。ラインの入っている商品を探してみてください。

牛乳パックにはジュース類と区別し、開け口を分かりやすくするために、開け口とは反対側に「切欠き」がついています。



ラップにはアルミホイルと区別するためにWマークがついています。

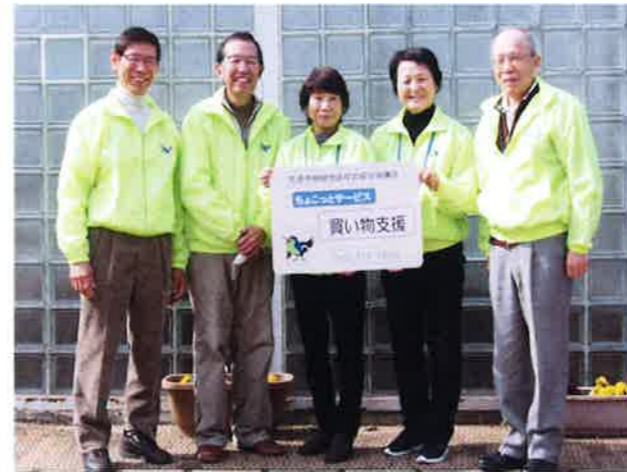


## 地域のちょこっと困りごとをヘルプ! ~ちょこっとサービス編~

佐倉市根郷地区社会福祉協議会「ちょこっとサービス」は、日常生活で手助けが必要な高齢者の家庭等に対し、ゴミ出しや電球交換などといった雑事・家事を中心にお手伝いする、地域で支えあう支援サービスです。今回は「買い物支援サービス」に同行取材させていただきました。買い物支援には、愛光(はちす苑)の車両を提供しています。



10時半頃、佐倉市南部地域福祉センターを出発し、ご希望のご自宅を数件回り乗車、この日はベイシア(スーパーマーケット)へ。自由にお買い物を楽しんでもらいます。「自分でゆっくり選べるのが良いの」12時過ぎ、店内の待ち合わせ場所にカートにいっぱい荷物に乗せ、笑顔で戻ってこられました。帰りもご自宅まで荷物を運んでもらえるので楽々。買い物支援は以前から要望が多く、本年からは、回数を月2回に増やしました。しかしながら、まだまだこの買い物支援サービスをご存じない方も多そうです。1回の利用につき600円と利用しやすい価格となっています。支援が必要な方には是非ご利用して頂きたいサービスです。



『今後「買い物弱者、通院弱者」がますます増えていくと思います』と、センター長の神山さんは現状と将来の見通しについて語ってくれました。根郷地区も高齢化が進み、独居の方、高齢夫婦世帯が増えてきています。また、通院の支援についても、要望が多く、「何とかしたい」という思いはあるものの、待ち時間、院内で家族が聞くべき説明には対応が難しい、といった問題があり、なかなか応えることができずに頭を悩ませているそうです。

住み慣れた地域で暮らすために、介護保険では賄えない部分の、ちょっとした困りごとを、地域でちょこっと助け合う、支えあう。まさに、共生(ともいき)への取り組みです。支える側のスタッフも募集中です、下記までお問い合わせを。



### 「ちょこっとサービスセンター」

佐倉市大篠塚1587 TEL/FAX 043-312-1808

受付: 毎週水・木 10時~12時(それ以外の時間帯は留守電・FAXにて)

※買い物支援は毎月第3水・木



# ラファエルの家 交流事業

新企画！過去の広報誌の記事から話題をピックアップして、  
“過去から現在を知る” コーナーです。記念すべき1回目は・・・



## ハサン 韓国 夏禪福社会 ラファエルの家との交流事業にズームイン！！

### 親善交流&相互研修

広報29号より  
2003年

広報38号より  
2007年

### 韓国の施設と姉妹提携

施設間交流の話題は、平成12年秋にラファエルの家の関係者が日本の視覚障害関係施設の視察で訪日した際、愛光を訪問したが、きっかけで、昨年6月には、愛光より千田米蔵理事始め4名の幹部職員が、ラファエルの家を訪問し、今回の姉妹提携に向けた話し合いを行っています。

姉妹提携にむけて

広報28号より  
2002年

2019年12月3日(火)～7日(土)まで、法人職員5名がラファエルの家を訪問しました。

文化や環境の違いはあるものの、職員同士が話をすると同じような悩みを持ち、やりがいを感じながら支援をしていることが分かりました。

研修最終日にラファエルの家のイム施設長からの「負担でしかない交流なら、する必要がない。しかし私はその上にお互いが得られるものがあると信じている」という言葉が訪問した職員の印象に残ったそうです。

～現在もラファエルの家との交流は続いています～  
현재도 라파엘의 집과의 교류는 계속되고



# 未来の人財育成

## ～愛光メンター制度のその後～

愛光の新任職員育成制度(メンター制度)の紹介を3年前の広報誌(広報第63号)で紹介しましたが、現在もメンター制度は脈々と受け継がれています。

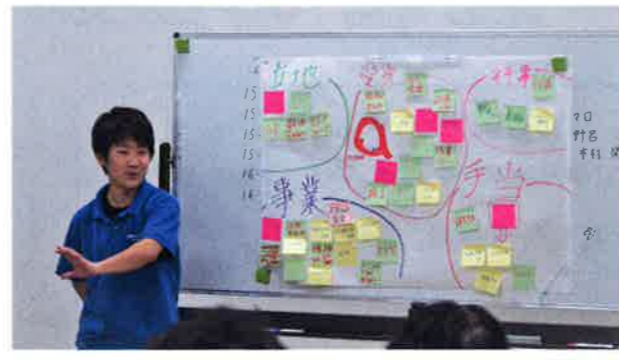
メンター制度は、新任職員(メンティ)に対して先輩職員(メンター)がマンツーマンで、1年間にわたって指導、助言、相談に応じるシステムです。この制度の運用は、各事業所から選出された「メンター制度委員会」が行っています。

2019年度の新任職員13名は、4月に愛光内各部署に配属され、1年間さまざまな業務に取り組んできました。(右上写真)

メンター制度では、新任職員同士の悩みや喜びを分かち合う場として「メンティ交流会」を実施しています。これまで年1回の開催でしたが、本年は2回実施し交流の機会を増やしました。



1回目の交流会の様子(7月)



2回目の交流会の様子(1月)

1月に行われた第2回メンティ交流会では、心理テストを含んだアイスブレイクから始まりました。その後メンティの皆さんに『愛光就職説明会』というタイトルで、愛光の魅力を話し合い、就職を希望する学生に発表するつもりでプレゼンテーションを実施。緊張感もありましたが、皆さん自分たちが働いている法人について真剣に取り組み、発表していました。

またメンター制度委員会では、メンター制度のあり方を問う意味で初のアンケート調査を実施しました。「メンター制度は人材育成につながっているか」の問いには7割以上が繋がっていると答え、メンター制度が人材育成に効果的であることが改めてわかりました。メンターとメンティの相性やマッチングの質問ではさまざまな意見があり、マッチングの重要性を感じています。アンケート結果を元に、より良い制度へと変革するために、メンター制度委員会は今後も取り組んでいきたいと思ひます。

人材から【人財】へ！愛光の人づくりは続きます。

## プレゼント企画!

右下の応募券を切り取り、はがきに貼ってお送りいただいた中から、抽選で10名の方にクリエイティブワーク(日中活動)の作品をプレゼントいたします！  
氏名・住所・広報誌の感想を添えてご応募ください！

(応募先) 社会福祉法人愛光 広報委員会宛  
〒285-0807 千葉県佐倉市山王 2-37-9

※当選者は、賞品の発送をもって発表にかえさせていただきます。

71号  
応募券

はじめての方、大歓迎!

# ボランティア大募集

あなたのところと力をお貸しく下さい!

- ・利用者の作業支援、生活支援
- ・お話を聞く傾聴ボラ
- ・高齢者や子ども達との囲碁・将棋
- ・趣味の発表の場として
- ・施設の行事サポート(納涼祭・敬老会・秋まつりなど)
- ・児童センターの保育補助(本の読み聞かせなど)
- ・地域食堂ともいきの手伝い
- ・サロン・ドともいきの手伝いや運転手



経験のないかたも大歓迎です。

(お問い合わせ先)

愛光 福祉相談室 月～金 9:00～16:00 電話:043-484-6398  
 佐倉市南部地域福祉センター 火～日 9:00～17:00 電話:043-486-5151

## 感謝のコーナー (2019.11～2020.2)

法人ならびに各施設に対して、ご芳志をいただいた皆様です。厚く御礼申し上げます。勝手ながら敬称を省略させていただきます。(順不同)

【個人】石原 喜久江、宮嶋としえ、田町 保、法澤 奉典、荒木 直躬、矢野 光子、伊佐 勉、佐久間 清子、岩下 幸恵、山王郵便局 村田万里子、幸田 ひろみ、齊藤 與助、梅澤 治、富谷

【団体】千葉県視覚障害者福祉協会、ルミエール家族会、リホープ家族会、チョコキチョコクラブ、ロック製菓株式会社 石田豊店

## 日誌抄録

(2019.11～2020.2)

ル:ルミエール  
 根:根郷通所センター  
 よ:よもぎの園  
 包:南部地域包括支援センター  
 山:山王の家

め:めいわ  
 は:はちす苑  
 か:ワークショップかぶらぎ  
 児:児童センター・学童  
 後:後援会「愛の灯台基金」

リ:リホープ  
 ア:アシスト  
 ジ:ジョーの家  
 地:南部地域福祉センター

- 11月
- 2日 RUN 伴 2019
  - 3日 根郷福祉まつり
  - 15日 法人事業所移転 25 周年・はちす苑 開設 20 周年記念式典
  - 19日 千葉県監査(佐倉事業所3施設、よもぎの園)
  - 20日 千葉県監査(はちす苑)
  - 27日 感染症対策研修
  - 30日 理事会
- 12月
- 3日 日韓交流職員研修(3-7)
  - 8日 評議員会
  - 12日 法人研修 中堅職員研修
  - 15日 後援会主催ほっとタイムコンサート(本部・児童)

- 1月
- 15日 後援会主催小学校5校書初め展・佐倉市長来訪
  - 21日 合理的配慮研修(リ)
  - 25日 理事会
- 2月
- 1日 Aikoh フォーラム 総合相談センター研修
  - 9日 職員実践発表会
  - 14日 労務管理者研修
  - 15日 愛の灯台基金 バリアフリー上映会



### 編集後記

感染拡大が続く新型コロナウイルス。せめて青葉の眩しい季節には、明るいさざしをみつきたい。そんな心境です。今号はプレゼントを企画しました。プレゼントは以前特集した made in Aikoh のクリエイティブワークの作品です。皆さまに喜んでいただけるよう厳選しました。広報紙の感想を添えてご応募ください。(藤山)

### 編集委員

稲垣直子(委員長)/林拓也(総務部)/角田絵友(ルミエール)/齊藤美佳(めいわ)佐藤友里恵(リホープ)/清水翔斗(はちす苑)/藤山明子(南部包括)/椎名豊(ワークショップかぶらぎ)

2020年(令和2年)4月20日発行

社会福祉法人 愛光  
 発行人 西原 弘明  
 編集人 広報委員会  
 〒285-0807千葉県佐倉市山王 2-37-9  
 TEL.043-484-6391  
 FAX.043-484-6396  
 E-MAIL mail@rc-aikoh.or.jp  
 U R L http://www.rc-aikoh.or.jp  
 印刷:ワークショップかぶらぎ